

9月28日 「種をまこう」

先週、「種をまこう 集会」を行いました。あおぞらグループで、自分たちのプランターに小さな種をまきました。種をまいたプランターは、6年生が玄関に運んでくれました。これから水やりなどのお世話をしていきますが、きれいな花が咲くのが楽しみです。



種をまこう

種をまこう 種をまこう

心の中に 種をまこう

私の心 あなたの心

みんなの心に 種をまこう

生まれたばかりの 柔らかい心に

人権という名の 種をまこう

そして 思いやりという名の 水と

愛という名の 栄養を

たっぷり たっぴり 注いであげよう

みんなの笑顔という名の 日を浴びて

きつと芽が出る 花が咲く

やがて 大きな幸せの実が 実る



さて、「種をまこう」と言えば、2学期に音読で取り組んでいる「種をまこう」という詩があります。もう、多くの人が覚えて校長室で音読を聞かせてくれました。これから、教室でもみんなで音読をすることがあると思います、まだ読んでいない人も、これからみんなで声を出して読んでいきましょう。

この「種をまこう」の詩の中に、「人権」という言葉が出てきます。「人権」について、今までも何度かお話してきましたが、今日は、「種をまこう」にちなんで、「人権」についてお話をします。

人権というのは、簡単にお話すると、「世界中のひとりひとりが、生まれたときから持っている、幸せに生きるための大切なきまり」と言うことができます。「大切なきまり」とは、たとえば、「みんなの大切なからだや心をきずつけない」「みんなの「好き」や「考え」を大切にする」「だれでも大切にされる」というようなものがあります。

そして、この人権のことを考えるときに、「自分

みんなの大切なからだや心をきずつけない

だれでも大切にされる

じん けん

人権

みんなの「好き」や「考え」を大切にする

せかいじゅう 世界中のひとりひとりが、

うまれたときから持っている

「幸せに生きるための大切なきまり」

じぶん たいせつ

自分の大切さをみとめる

ほか ひと

他の人の大切さをみとめる

の大切さをみとめるとともに、他の人の大切さをみとめる」ということが大事になります。
自分を大切に、そして同じように、周りにいる人みんなを大切に、ということです。

種をまこう集会では、飼育園芸委員会のみなさんが、みんなで
花を育てるねらいを「学校に緑をふやす」「思いやりの心をもつ」
「命を大切にする気持ちを育てる」と話していました。これから、「思いやりの心」「命を大切に」というような、人権の心を思いながら、水やりなどのお世話をしていけるといいですね。



また、「種をまこう」の詩の中にも、「思いやり」「愛」「笑顔」「大きな幸せ」というような人権を考える上で大切な言葉がちりばめられています。長い詩を覚えるのは大変だともいますが、音読をしながら、「人権」についても考えられるといいですね。